聖書日課 『からし種』 2025.8.3~8.10

<p>8月3日 (日)</p> <p>エフェソ 4章</p>	<p>「わたしたちは皆、神の子に対する信仰と知識において一つのものとなり、成熟した人間になり、キリストの満ちあふれる豊かさになるまで成長するのです」(13節)。なんと希望に満ちた言葉だろうか。わたしたちが、キリストの愛に根ざして成長し、一人ひとり部分に応じて働きキリストの体を形成していく。心に留めておきたい。</p>
<p>4日 (月)</p> <p>エフェソ 5章</p>	<p>「わたしたちは、キリストの体の一部なのです」(30節)。キリストが教会の頭であり、わたしたちはキリストに呼び集められたその体の一部なのです。ここでは、「妻を自分のように愛し、妻も夫を敬いなさい」(33節) とパウロは語っているが、キリストの体として集められたわたしたちに、それぞれ愛し、尊敬し合うことを願っていると思う。</p>
<p>5日 (火)</p> <p>エフェソ 6章</p>	<p>「悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武具を身に着けなさい」(11節)。パウロはわたしたちが神の武具を身につける必要があるのは、血肉ではなく、天にいる悪の諸霊を相手にするからだ、と語る。わたしたちに立ち向かうことができるのか？ 恐ろしくなるが、信仰と神の言葉に頼り、神の霊が助けしてくれることを祈ろう。</p>
<p>6日 (水)</p> <p>フィリピ 1章</p>	<p>「ひたすらキリストの福音にふさわしい生活を送りなさい」(27節)。パウロはフィリピの信徒に「あなたがたは一つの霊によってしっかり立ち、心を合わせて福音の信仰のために共に戦っており、どんなことがあっても、反対者たちに脅されてたじろぐことはないのだと」(27-28節)と励ましている。わたしたちも福音の信仰のために心を合わせたい。</p>

メール配信登録メール senfkorn.obc@gmail.com

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2025.8.3~8.10

<p>7日 (木)</p> <p>フィリピ 2章</p>	<p>「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです」(13節)。「何事も、不平や理屈を言わずに行いなさい」(14節)とパウロは言う。神が、あなたがたの内に働いてすべてを整えてくださり、命の言葉をしっかりと保つ者としてくださる。しかし、簡単なことではない。いつも神の言葉に従っていこう。</p>
<p>8日 (金)</p> <p>フィリピ 3章</p>	<p>「わたしは、キリストとその復活の力とを知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の中からの復活に達したいのです」(10—11節)。そのためにパウロは、すでに完全な者となっているわけではないが、何とかしてそれを捕らえようと努めている。わたしたちも何とかして死者の中からの復活に達したい。</p>
<p>9日 (土)</p> <p>フィリピ 4章</p>	<p>「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい」(6節)。暗黒に主の光が差し込んだ気がする。今は八方ふさがりの状態であっても、神に打ち明けることで、あらゆる人智を越える神の平和が、わたしたちの心と考えとをイエスによって守ってくれる。</p>
<p>10日 (日)</p> <p>コロサイ 1章</p>	<p>「揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません」(23節)。「福音の希望」こそ、パウロが一番伝えたかったこと。「福音の希望」とは、父なる神が私たちを闇の力から救い出し、愛する御子の支配下にすでに移してくださったという事実(13節)。今日から始まる一週間、この「福音の希望」を胸に歩んでいこう。</p>